



エコシン

一般社団法人長野県環境保全協会

No.211
2020/7/27
Less CO₂ !

信州の豊かな自然環境の保全と地域活性化

国立公園の新たな観光利用として

National
Parks
of Japan



環境省では、国立公園における自然環境の「保全」と並行し、観光などによる「利用」の面にも取り組んでいます。外国人利用者の誘客を目的とした「国立公園満喫プロジェクト」を始め、国内外の多くの方に国立公園を訪れてもらうための各種施策を打ち出しているほか、地域関係者との協働による国立公園の管理運営（協働型管理運営）を各地で展開し、地元の方々と連携した観光利用を進めています。

この度、新型コロナウイルス感染症拡大により、観光業界に甚大な影響が及びました。同時に「観光」というものを改めて見直す機会となり、今後の「新しい生活様式」において「観光」に何が求められるのかが課題となっています。

そのような中、在宅勤務やテレワークが急速に普及し「職場」に対する考え方に変化が現れたことで、観光業界に様々なモデルケースが生まれています。その一つが休暇中の旅先などで仕事をする「ワーケーション」です。働き方改革の推進力となることはもちろん、地方創生にもつながる仕組みが注目されています。環境省も本年度補正予算事業として、国立公園等におけるワーケーション推進事業に着手しており、応募案件が採択された宿泊施設やキャンプ場等への支援を実施してまいります。

ここ長野県は、「上信越高原国立公園」、「妙高戸隠連山国立公園」及び「中部山岳国立公園」等の豊かな自然環境を有していることから、市街地では味わえない観光資源に恵まれており、首都圏からのアクセスも比較的に容易であるため、ワーケーションの立地として非常に恵まれていると言えます。また、住民である我々が身近な自然にもう一步踏み出してその魅力を再認識することは決して難しくなく、それがワーケーションを誘致する魅力発信の根源ともなります。



「観光」という、現代社会で重要な地位を占める活動に変革が期待されている今、観光業者のみでの対応は現実的でなく、業界を越えた人・団体の役割も問われることとなるでしょう。環境省としても、国立公園における自然環境の「保全」と「利用」の好循環を構築することが、理想的な国立公園の管理運営と考えており、そのためには観光利用等を通じた地域経済への貢献が欠かせないと認識しています。

地域の先人が守ってきた自然環境などの資源をどのように活用し、後の世代にどのような形で託すのか—この判断を誤らない限り、持続的な地域発展は可能だと期待します。



ワーケーションのイメージ
(写真提供：信濃町ノマドワークセンター)

(環境省信越自然環境事務所 国立公園課)



わが社の SDGs —— 会員の皆様の取り組みを随時ご紹介します ——

台風の被災から木を植える ～いのちを守る森づくり～ 株式会社ミールケア

昨年 10 月 13 日未明、台風 19 号による豪雨で千曲川の堤防が決壊し、ミールケアの本社、パン工場、レストランがある「みるんヴィレッジ」が水没しました。それは全てを失うという思いもよらない出来事でした。水が引いた翌々日から社員総出で泥だしを行い、復旧作業に取り掛かりました。

私たちは復旧だけでなく、その先に向けて何ができるだろうかと考え、伊那食品工業(株)塚越最高顧問からの「木を植えて緑化すること」とのアドバイスで、森を作ることに決めました。植生学者の藤原一繪・横浜国立大学名誉教授にご助言をいただき、ここが地域の人や来訪者の憩いの森となり、災害時には人々の命を守る防災林となるようにとの思いから、いのちを守る「みるの森」計画が始まりました。

それは、1.5mの盛り土に、地域の植生を尊重して選定した 30 種類約 6,000 本の苗木を、建



物をぐるっと囲むように植樹していくのです。今回は社員だけで全体の 1/3 に当たる約 2,000 本の苗木を、6 月 18、19 日に植えました。9 月には残りの苗木を大勢の人たちと一緒に植えたいと計画しています。

この苗木が成長したあかつきには、地域のみなさんが集まり、子どもたちの笑い声が響く豊かな森、「いのちを守る森」になることでしょう。被災からの復興という、わたしたちの希望を託した未来の森は、この先 5 年・10 年・100 年と地域と共に成長していきます。

(常務取締役社長室長 田子美津子)



サンパチェンス・ミーティング

皆さんは「サンパチェンス」という花をご存知でしょうか？夏の暑さに負けずに美しい花を咲かせ続ける園芸植物で、その祖先は遠くインドネシアです。

サンパチェンスは種苗会社「サカタのタネ」の長野県安曇野試験場で、インドネシアの公的機関と共同で開発されました。世界中で販売されている売上の一部はインドネシアに還元され、その生物多様性保全にも貢献しています。



また、サンパチェンスの CO₂ 吸収能力が他の植物に比べて極めて高いことが、サカタのタネさんと東京大学農学博士の浦野豊氏との共同研究で実証され、「環境浄化植物」としても注目されています。その吸収能力は、従来の園芸植物と比較すると、CO₂ が 4~6 倍、自動車の排ガスに含まれる二酸化窒素が 5~8 倍、シックハウス症候群の原因物質ホルムアルデヒドは 3~4 倍にもなります。

長野エフエム放送株式会社

花いっぱい運動発祥の地である松本市に本社を置く FM 長野では、「エバーグリーン・キャンペーン」の一環「サンパチェンス・ミーティング」として、サカタのタネさんのご支援の下、2011 年よりサンパチェンス苗の配布を始め、14 年からは植栽イベントに模様替えして、毎年、松本、上田の県内 2 箇所ですりナーの皆さんとともに植栽を実施しています。

今年は残念ながらコロナ禍のためイベントは実施できませんでしたが、6 月上旬に松本山雅 FC のホームグラウンド「アルウィン」近くの花壇を中心に、パーソナリティーと関係者が植栽しました。FM 長野では、次年度以降のイベント復活を期待しつつ、放送と事業を通じてこれからもサンパチェンスの輪を広げ、ひいては環境保全や SDGs の輪を広げてまいります。



(長野支社長 坂井一正)

報告

全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA) 事業
「気候コミュニケーションに関する web 学習会」に参加しました

6月11日(木)10時~11時半、国立環境研究所の江守正多氏を講師とし、zoomを使った学習会が開かれ、全国の地域センターから138名が参加、私たち長野県・市センター職員も参加しました。「これからの気候コミュニケーションの方向性」について、内容の一部をご紹介します。

④気候変動「無関心」問題

人々が気候変動に関心がないのは、「(正しい情報を)知らないせい」「自分勝手なせい」だから、「知ってもらおう」「自分にも影響があることを知ってもらおう」ことで、「みんなが関心を持ってエコな生活を送る」ようになればいい——。これまで我々の多くはこんなふうに考えてきたと想像するが、実は、そうではないのではないのか？



会議室の壁にプロジェクターで PC 画面を投影、スピーカーも接続。

④“負担意識”を変えていこう！

関心がないのは「“負担意識”があるせい」では？日本では、「気候変動対策は生活の質を落とさなければならぬもの」と思っている人が他の国々より多い。「自分はこれだけ便利さや楽しいことを我慢(=負担)しているのに、あなたは負担していない」と責められている感じがして、気候変動問題を考えるのを避けてしまうのではないのか。

ではどうするか？“負担意識”を変えていこう！エネルギーシステムの転換(再エネ化)など、**脱炭素は前向きな社会のアップデート(進化)**で、ポジティブなものだというメッセージが必要。

④システムの変化を起こそう！

最終的にどうなったらいいのか。“本質的な関心を持つ人”を増やして、**システムの変化を起こそう！**レオナルド・ディカプリオやグレタ・トゥンベリさんのように、人生を懸けるほど気候変動問題が“刺さった”人がアクションを起こして、ムーブメントをつくる。グレタさんが飛行機に乗らないのは、みんなも乗るなということではなく、CO₂を出さずに長距離移動するには社会のシステ

ムを変えなければ、というメッセージを出している。

④エコでは止まらない…

気候変動にみんながうっすら興味を持ってエコな生活をして、地球温暖化は止まらないところまで来てしまっている。既存のインフラ(火力発電・自動車など)を従来同様の寿命と稼働率で使い続けるだけで、世界がめざす(産業革命前より)1.5℃

を超えるだけのCO₂を排出してしまう可能性が高い、との論文が昨年出ている。

④卒エコしよう！

最後に思い切って一言、「**卒エコしよう！**」と。これからはエコの先を目指さなければならない。政治家・企業を動かすために、どういう発言、消費の選択、投票行動、意見表明をしなければいけないか——気候変動に関心を持った人をそういう方向に促していけるコミュニケーションが、本質的ではないかと思う。子どもにも、「親に『家の電気はどこから買ってる？その電気をつくるときCO₂は出てる？選挙はだれに投票する？その人は温暖化を止めてくれる？』と訊いてみて」と、そのスケールで話さなければならない。

気候非常事態宣言・2050 ゼロカーボンを出している自治体と、地域センターと一緒に具体策を考えたい。地域の知恵とアクションを結集していく——地域センターはそこに力を発揮してほしい。

〈感想〉「卒エコ」、正直、衝撃でした！今後何をどのように伝えていけばいいのか？まず自分たちが変わらなければ、との思いを強くしました。

うちの健康診断しませんか？

Step① 自己診断

まずは「簡単チェック！ワンポイントアドバイスツール」で web の簡易診断。
<https://www.uchieco-shindan.jp>



Step② うちエコ診断

さらにくわしい診断を希望する方は、うちエコ診断士による「うちエコ診断」の受診を。お問い合わせは各センター(県・市)まで。

意外と知られていない？『SDGs』

世論調査「環境と暮らし 2020」から

長野県世論調査協会と共同で実施した県民対象の世論調査「環境と暮らし 2020」で、「SDGs」という言葉を知っているとの回答は、15.4%となりました。昨年の調査結果では、7.7%でしたので認知度は倍になりました。一昨年は3.6%でしたから倍々で高まってきています。

経済フォーラムが SDGs の認知度調査を 28 ヶ国で行った調査結果では SDGs を少しでも聞いたことがあるという人は、世界平均が 74%ほどであるのに対し、日本は 49%ほどに留まり、28 ヶ国中最下位の結果となっています。

2030 年までに SDGs の 17 の目標とそれらを達成するための具体的な 169 のターゲットをクリアするためには、取り組みのスピードを速め規模を拡大していく必要があります。そして 1 人 1 人が自分事として意識し行動していくことが求められますが、そのためにもまずは SDGs を周知することから努めていきたいものです。

調査年度	全体 (%)	年代別 (%)					
		18~20代	30代	40代	50代	60代	70代
2018	3.6	6.7	2.3	3.4	5.7	2.0	2.4
2019	7.7	26.7	9.3	6.9	8.0	4.2	4.4
2020	15.4	13.5	26.3	21.4	21.6	12.0	7.0

SDGs の言葉を知っている人の割合の推移

一方で、朝日新聞が今年の 3 月に行った全国調査では、「SDGs という言葉を聞いたことがあるか」という質問に対して「ある」と答えた人は 32.9%に上ったことが報告されています。全国調査の結果と比較すると、長野県内での認知度はもう一つと言わざるを得ません。しかも、世界



〰 ホームページのリンク設定にご協力ありがとうございました 〰

当協会ホームページのリニューアルに伴い、サイトのより一層の充実を図るべく、法人会員の皆様に会員名簿のページの会社名にリンクを貼らせていただくようお願いしてまいりました。お陰様でリンク設定先が 150 社から 315 社

(6 月末現在) へと大幅に増加しました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

リンクの設定は随時お受けいたしますので、まだ設定されていない法人の皆さまからのご連絡をお待ちしております。

暑さ指数を活用して「熱中症」を予防しましょう ☀

夏真っ盛りです。熱中症の予防に「暑さ指数 (WBGT)」に基づいた指針が環境省などから発表されています。暑さ指数は、①気温、②湿度、③輻射熱の 3 つの要素を、1:7:2 の割合で計算し、単位は気温と同じ摂氏 (°C) で示されます。

環境省の「熱中症予防情報サイト」で各地の指数が公表されていますが、この暑さ指数が 28°C を超えると熱中症患者が著しく増加し、嚴重警戒とされています。7 月 1 日 12 時における長野市の暑さ指数は 26.6°C (警戒) でした。

<p>会員数 (2020 年 6 月 30 日)</p> <p>* 特別会員 92 名 * 一般会員 422 名</p> <p>* 賛助会員 197 名 * 総会員数 711 名</p> <p>事務局だより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス第 2 波への警戒が続いています。油断せずに、万全の対策を継続しましょう。 ・熱中症予防も大切です。体調を整え、水分を十分に摂取しましょう。 	<p>発行元</p> <p>〒380-0835 長野市新田町 1513-2</p> <p>☐ 一般社団法人 長野県環境保全協会 TEL.(026)237-6620 FAX (026)238-9780 E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/</p> <p>☐ 長野県地球温暖化防止活動推進センター TEL.(026)237-6625 FAX (026)238-9780 E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/</p> <p>☐ 長野市地球温暖化防止活動推進センター TEL.(026)237-6681 FAX (026)237-6690 E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp http://www.eco-mame.net/</p>
---	--

